

環境活動レポート

(運用期間 2018年7月1日から2019年6月30日まで)



エコアクション21
認証・登録番号 0009707



株式会社 得能組

富山県砺波市太郎丸3-113

作成日 2019年 7月31日

【目次】

	Page
1. 組織の概要	1
2. 対象範囲および実施体制と役割・責任・権限	1-2
3. 環境方針	3
4. 活動計画・環境目標と実績	4-7
5. 環境活動実績への評価と見直し	8-10
6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価 違反、訴訟の有無	11
7. 経営者による全体の評価と見直し	12

認証・登録の組織及び活動

1. 組織の概要

事業所名及び代表者名
株式会社 得能組 代表取締役 得能 英紀

所在地
〒939-1363 富山県砺波市太郎丸三丁目113番地

資材整備工場
〒939-1416 富山県砺波市芹谷1438-1

金沢作業所
〒920-0331 石川県金沢市大野町4-1-177

環境管理責任者及び担当者氏名連絡先（メールアドレス・電話番号）
環境管理責任者 中瀬 裕二 (nakataki@tokunougumi.com・090-8963-1795)
環境管理担当者 佐野 満寿男 (office@tokunougumi.com・0763-32-4300)

事業の概要（事業許可の種類及び実施活動）
総合建設業（許可業種：土木工事業、大工工事業、とび・土工工事業、石工事業、
管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、
鉄筋工事業、ほ装工事業、造園工事業、水道施設工事業）

フィットネス事業

事業規模（工事の件数、売上高、従業員数、事業所の延べ床面積等、事業の規模が判る情報）

工事件数	58件
売上高	608,259千円
従業員数	33名
事業所延べ床面積	
本社	353㎡
資材整備工場	898㎡
金沢作業所	119㎡

2. 対象範囲

全社組織並びに全活動を対象とする。

作成・更新日	作成者	承認者
2013年7月1日	土田	中瀧
2018年1月1日	水上	中瀧
2019年1月1日	佐野	中瀧

環境経営 実施体制図



環境経営 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施体制の構築。 必要な人・設備・費用・時間・技能者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、維持。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を分析・評価し代表者へ報告 環境活動レポートの確認。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21活動の事務局。 環境への負荷及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守状況のチェック実施。 環境関連の内部・外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポート作成、公開(事務所に備付け・地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の管理・報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境活動計画に従い、自主的・積極的に環境活動へ参加。

環 境 方 針


株式会社得能組は、自然と散居景観が美しい富山県砺波市にあり、建設業を営む企業としての活動が地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境改善に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し、以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

1. 事業活動に関わる環境関連の法規、条例、その他の要求事項を遵守します。
2. 環境負荷の低減や環境改善を図るため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①地球温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減及び適正処理、リサイクルの推進に努めます。
 - ③節水の推進に取り組みます。
 - ④工事現場で、できる限りエコな工法、リサイクル品の使用、自然エネルギーを利用するなど環境負荷削減に努めます。
 - ⑤グリーン購入を実施します。
 - ⑥エコアクション21のシステムを構築・運営・維持・改善します。
3. この環境方針は、全従業員に周知します。

制定日：2012年11月12日

株式会社 得 能 組

代表取締役

得能 英記 

4. 環境活動計画

項 目		取 組 内 容	
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電気使用量の削減 (フィットネス事業を含む)	照明不用時の消灯励行	
		冷暖房設定温度の標準化	
		事務機器の空運転防止	
		クールビズ・ウォームビズの実践	
	灯油使用量の削減	コンクリート養生の効率化	
		暖房設定温度の標準化	
		ウォームビズの実践	
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減	作業の効率化	
		不用積載禁止	
		空運転防止	
エコドライブの励行			
こまめな点検・整備			
省エネ車輛への転換			
廃 棄 物 排 出 量 削 減	紙類排出量の削減 (フィットネス事業を含む)	文書等のペーパーレス化	
		印刷プレビューによるロスの防止	
		不要紙裏面再利用	
		両面・縮小印刷による枚数削減	
	産業廃棄物の再資源化	適切な処理の励行	
		排出量を可能な範囲で抑制	
		再生材の利用	
削 排 水 減 量	上水道使用料の削減 (フィットネス事業を含む)	こまめな蛇口閉栓	
		節水意識の向上	
エコ工法		エコ工法を選択	
リサイクル品使用		マンホール、 コンクリート2次製品、 再生砕石、 再生アスファルト等を使用	
自然エネルギー利用		エコ機材の利用促進	
グリーン購入の推進 (事務所およびフィットネス事業)		カタログでチェック	

項目	単位	2009-2016年 度実績平均		2018年度 7月~6月 目標と実績		評 価	2019年度 目標		2020年度 中期目標	
		基準値	目標率	実績/目標 実績値	目標率		目標率	目標値	目標値	
二酸化炭素排出量削減	%	100	96	103	△	93	91			
	kg-CO ₂	253,802.8	244,056.0	252,358.6		236,557.6	230,241.7			
電力使用量削減	%	100	95	93	○	93	92			
	kg-CO ₂	62,796.4	59,801.2	55,427.7		58,497.0	56,661.3			
	kWh	109,401.4	104,183.2	96,564.0		101,911.2	98,713.1			
化石燃料削減	%	100	96	107	×	93	91			
	kg-CO ₂	191,006.4	184,254.8	196,930.9		178,060.6	173,580.4			
ガソリン	%	100	93	147	×	95	93			
	kg-CO ₂	45,236.2	42,288.6	62,329.8		41,044.9	40,140.1			
	L	19,484.4	18,214.8	26,847.1		17,679.1	17,289.4			
軽油	%	100	98	97	○	80	78			
	kg-CO ₂	137,518.9	134,768.4	130,929.7		130,642.9	127,892.6			
	L	53,173.7	52,110.2	50,625.9		50,515.0	49,451.5			
LPG	%	100	40	0	○	30	20			
	kg-CO ₂	456.6	182.5	0.0		137.0	91.3			
	kg	152.1	60.8	0.0		45.6	30.4			
灯油	%	100	90	52	○	80	70			
	kg-CO ₂	7,794.8	7,015.3	3,671.4		6,235.8	5,456.3			
	L	3,128.0	2,815.2	1,473.3		2,502.4	2,189.6			
産業廃棄物分別率向上	%	100	100.0	100.0	○	100.0	100.0			
環境負荷削減の取組	件	0	3	3	○	5	5			
エコ工法	件	0	0	0	○	0	0			
リサイクル品利用	件	0	2	2	○	3	3			
自然エネルギー利用	件	0	1	1	○	2	2			
一般廃棄物排出量削減	%	100	80	181	×	79	77			
	kg	401.7	321.2	581.0		315.7	311.0			
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%	100	88	141	×	85	82			
	kg	329.6	250.5	352.9		247.2	243.9			
紙類排出量削減	%	100	83	323	×	80	78			
	kg	72.1	70.7	228.1		68.5	67.1			
排水量の削減	%	100	85	109	△	76	75			
	m ³	879.5	677.2	741.0		668.4	659.6			
上水道使用量の削減	%	100	85	109	△	90	88			
	m ³	879.5	677.2	741.0		668.4	659.6			
グリーン購入の推進	件	0	55	49	○	72	75			
事務用品購入	件	0	55	49	○	72	75			
地域環境活動実施	件	1	1	1	○	1	1			

電力のCO₂排出係数は、2017年度北陸電力の調整後排出係数を用いた。

0.574 kg-CO₂/kWh

《<http://www.env.go.jp/press/files/jp/110465.pdf>》を参照。

評価基準: 目標値・基準値ともに達成 ○、基準値のみ達成 △、目標値・基準値ともに未達成 ×

※当社は、化学物質は使用していません。

項目	単位	2018年度 7月~6月 目標と実績			評価	2019年度 目標		2020年度 中期目標	
		2009-2016年 度実績平均 基準値	目標率 目標値	実績/目標 実績値		目標率 目標値	目標率 目標値		
二酸化炭素排出量削減	%	100	98	106	×	94	92		
	kg-CO ₂	186,502.5	181,884.0	192,550.3		175,711.4	171,321.2		
電力使用量削減	%	100	98	124	×	95	93		
	kg-CO ₂	4,819.0	4,722.6	5,847.9		4,578.1	4,481.7		
	kWh	8,395.5	8,227.6	10,188.0		7,975.7	7,807.8		
化石燃料削減	%	100	98	105	×	94	92		
	kg-CO ₂	181,683.5	177,161.4	186,702.4		171,133.3	166,839.5		
ガソリン	%	100	98	157	×	95	93		
	kg-CO ₂	33,886.3	33,208.5	52,101.3		32,191.9	31,514.2		
	L	14,595.7	14,303.8	22,441.4		13,865.9	13,574.0		
軽油	%	100	98	96	○	95	93		
	kg-CO ₂	139,545.9	136,755.0	130,929.7		132,568.6	129,777.7		
	L	53,173.7	52,110.2	50,625.9		50,515.0	49,451.5		
LPG	%	100	40	0	○	30	20		
	kg-CO ₂	456.6	182.6	0.0		137.0	91.3		
	kg	152.1	60.8	0.0		45.6	30.4		
灯油	%	100	90	52	○	80	70		
	kg-CO ₂	7,794.8	7,015.3	3,671.4		6,235.8	5,456.3		
	L	3,128.0	2,815.2	1,473.3		2,502.4	2,189.6		
産業廃棄物分別率向上	%	100	100.0	100.0	○	100.0	100.0		
環境負荷削減の取組	件	0	3	3	○	5	5		
エコ工法	件	0	0	0	○	0	0		
リサイクル品利用	件	0	2	2	○	3	3		
自然エネルギー利用	件	0	1	1	○	2	2		

0.574 kg-CO₂/kWh

項目	単位	2009-2016年度実績平均			2018年度7月~6月 目標と実績		評価	2019年度 目標		2020年度 中期目標	
		基準値	目標率	実績/目標	目標率	実績/目標		目標率	目標値	目標率	目標値
二酸化炭素排出量削減	%	100	93	93	○	91	88	62,771.9	60,805.6		
	kg-CO ₂	69,327.3	64,158.4	59,808.4							
電力使用量削減	%	100	95	90	○	93	90	53,919.0	52,179.6	93,935.5	90,905.3
	kg-CO ₂	57,977.4	55,078.5	49,579.8							
	kWh	101,005.9	95,955.6	86,376.0							
化石燃料削減	%	100	80	113	△	78	76	8,852.9	8,625.9		
	kg-CO ₂	11,349.9	9,079.9	10,228.5							
ガソリン	%	100	80	113	△	78	76	8,852.9	8,625.9		
	kg-CO ₂	11,349.9	9,079.9	10,228.5							
	L	4,888.7	3,911.0	4,405.7							
軽油	%	100	100	0	○	100	100	0.0	0.0		
	kg-CO ₂	0.0	0.0	0.0							
	L	0.0	0.0	0.0							
灯油	%	100	100	0	○	100	100	0.0	0.0		
	kg-CO ₂	0.0	0.0	0.0							
	L	0.0	0.0	0.0							
一般廃棄物排出量削減	%	100	80	181	×	79	77	315.7	311.0		
	kg	401.7	321.2	581.0							
一般廃棄物(紙以外) 排出量削減	%	100	76	141	×	75	74	247.2	243.9		
	kg	329.6	250.5	352.9							
紙類排出量削減	%	100	98	323	×	95	93	68.5	67.1		
	kg	72.1	70.7	228.1							
排水量の削減	%	100	77	109	△	76	75	668.4	659.6		
	m ³	879.5	677.2	741.0							
上水道使用量の削減	%	100	77	109	△	76	75	668.4	659.6		
	m ³	879.5	677.2	741.0							
グリーン購入の推進	件	0	55	49	×	72	75				
事務用品購入	件	0	55	49	△	72	75				
地域環境活動実施	件	1	1	1	○	1	1				

0.574 kg-CO₂/kWh

5. 環境活動実績の評価と見直し

項目	取組内容	実施内容の評価	次回の活動計画			
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	照明不用時の消灯励行	基準の88.3%を達成し、目標値を92.7%を達成した。期間中の暖冬の影響と現場事務所の暖房がエアコンに置き換わっていることが考えられる。	教育を通じて節電意識の定着を継続していく。		
		冷暖房設定温度の標準化				
	灯油使用量の削減	事務機器の空運転防止			現場事務所での暖房がストーブからエアコンにシフトしているため減少していると考えられる。	現状維持
		クールビズ・ウォームビズの実践				
		コンクリート養生の効率化				
液化石油ガス(LPG)使用量の削減	作業の効率化	LPGの使用は無かった。	現状維持			
	重機・車輛燃料使用量の削減			不用積載禁止	工事連絡車、営業車の燃費はある程度定着してきている。現場での重機に使う軽油の使用量のウェイトが高く、工事量、工事内容に影響されていると考えられる。	燃費測定にあたり距離数の報告が定着することで省エネ走行省エネ工事の意識向上を推進していく。
				空運転防止		
				エコドライブの励行		
				こまめな点検・整備		
省エネ車輛への転換						
廃棄物排出量削減	紙類排出量の削減	文書等のペーパーレス化	事務所内の整理を進めた結果、排出量が一時的に増加した。	さらなる分別再資源化を目指す。		
		印刷プレビューによるロスの防止				
		不要紙裏面再利用				
	産業廃棄物の再資源化	両面・縮小印刷による枚数削減	再資源化100%を達成することができた。	100%維持を目指す。		
適切な処理の励行						
削減排水	上水道使用料の削減	排出量を可能な範囲で抑制	再生材の利用			
		再生材の利用				
削減排水	上水道使用料の削減	こまめな蛇口閉栓	普段使用しない2Fの男子トイレの水が出っぱなしになっていたことで増加した。	教育を通じて節水意識の定着を継続していく。		
		節水意識の向上				
エコ工法	エコ工法の選択	今年度はなかった。	現状維持			
リサイクル品利用	マンホール、再生砕石、再生アスファルト等の利用	施主からの特別な要望がない工事では100%利用した。	100%維持を目指す。			
自然エネルギー利用	エコ機材利用促進	夜間赤色灯、片交信号などできる限り利用した。	利用例、件数を増やす努力をする。			
グリーン購入の推進	カタログでチェック	今年度はグリーン購入対象品の購入品目数が減少した。	実績に合わせて次年度の目標を上げていくようにする。			

問題点の是正処置および予防処置

【現場】

項	目	原 因	是正処置および予防処置
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電気使用量の削減	現場事務所でストーブからエアコンにシフトした結果が出ているのではないか。	工程会議における意識向上及び現場作業員への周知
	灯油使用量の削減		現状維持
	液化石油ガス(LPG)使用量の削減		現状維持
	重機・車輛燃料使用量の削減	工事量の増加による現場での軽油使用量の増加、遠方の現場への移動の増加などが考えられる。	工事量に影響されない部分で、例えばなるべく遠隔地への移動を乗り合わせ等工夫する。
排 出 廃 棄 物 削 減	産業廃棄物の再資源化		現状維持
削 排 水 減 量	上水道使用料の削減		現状維持
リサイクル品利用			現状維持
自然エネルギー利用			現状維持

【事務所】

項 目		原 因	是正処置および予防処置
排 出 酸 量 化 削 炭 減 素	電気使用量の削減		現状維持
	車輦燃料 使用量の削減	ハイブリッド車導入による効果もあるが、遠隔地営業等の増加も要因として考えられる。	効率的な営業活動を推進していく。
出 廃 棄 物 減 排	紙類排出量 の削減	不用紙の再資源化の効果が若干現れてきていると考えられる。	再資源化を一層推進する。
削 排 水 減 量	上水道使用料 の削減	普段使用しない2Fの男子トイレの水が出しっぱなしになっていたことで増加した。	2Fの男子トイレも毎日チェックしている。
グリーン購入の推進		順調に推移している。	購入数の維持を目指していく。

6. 環境関連法規遵守状況の確認および結果への評価
違反、訴訟の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
過去3年間にわたり、関係機関等からの指摘、指導はありません。
この期間、顧客および住民よりの環境に関連するクレームはありませんでした。

7. 経営者による全体の評価と見直し

実施日	2019年 7月30日
活動期間	2018年 7月 1日 ~ 2019年 6月30日
使用した資料	1. 審査時に必要な文書 2. 審査時に必要な記録
評価内容	・環境経営システムが有効に機能しているか ・環境への取組が適切に実施されているか
評価の結果および 見直し事項	企業全体の二酸化炭素排出量は基準値を下回ったものの目標値を3%上回った。冬は暖冬だったが、夏の猛暑によるエアコン使用量の増加、工事の増加に伴う燃料の増加が要因として考えられる。
変更の必要性の判断	環境方針 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要 環境目標 <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不必要 (別紙1参照) その他の計画 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> 不必要
環境管理者への指示事項	工事量や遠隔地工事の増加によるCO2排出量の増加は理解するが、それが、隠れ蓋にならないよう管理して下さい。 社員へは、浸透してきているが、新規協力業者が現場へ入る時は、確実に教育すること。
経営者の抱負	更なる社員・協力会社への浸透と環境改善への熱い思いを持ち続け、地域に認められる企業にいたします。

2019年 7月 30日

署名

得能英記

別紙 1

環境目標変更の必要性について

その年の工事の受注状況、気候の変化などに影響を受ける部分が大きく、毎年単純に対前年比〇%削減としても実現は難しい。

今後、実現可能な目標比率(1%程度)に引き下げる。

会社としては、燃費の良い車両への順次入れ替え、本社照明設備のLED化など、設備面での取り組みを進める。